

# 報告書抄録

ふりがな	しわじょうあと							
書名	志波城跡							
副書名	平成20・21・22年度発掘調査概報							
編著者名	津嶋知弘・今野公顕							
編集機関	盛岡市教育委員会 盛岡市遺跡の学び館							
所在地	〒020-0866 岩手県盛岡市本宮字荒屋13番地1 電話 019-635-6600							
発行年月日	2011年3月10日							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積 (㎡)	調査原因
		市町村	遺跡番号					
しわじょうあと 志波城跡	いわてけんもりおかし 岩手県盛岡市 しもおた 下太田 ほうほちょう 方八丁・新堰端ほか	03201		39°	141°	第101次	126	現状変更 (個人住宅新築)
				41′	06′	2008.09.08～09.19		
				02″	47″	第102次		
				世界測地系	世界測地系	2008.10.14～11.21		
				39°	141°	第103次		内容確認
				41′	06′	2009.10.19～12.11	1,159	
				12″	34″	第104次		現状変更 (個人住宅新築)
						2010.09.14～10.15	184	
所収遺跡名	種別	主な時代		主な遺構		主な遺物		特記事項
志波城跡 第101次調査	城柵官衙	平安時代 中世以降		土坑1基 土坑2基,溝跡2条,柱穴4口		土師器,須恵器,あかやき土器		保存措置
第102次調査		平安時代 近世以降		竪穴建物跡1棟,土坑2基 溝跡1条,溝状遺構1条		土師器,須恵器,あかやき土器 近世陶磁器		
第103次調査				なし				
第104次調査		平安時代		外郭西辺築地塀跡 外郭西辺築地外溝・内溝跡		あかやき土器		
要約	<p>志波城跡は、平安時代初頭の延暦22年(803)に朝廷が造営した、古代陸奥国最北端・最大級の城柵である。郭内北東部で実施した第101次調査では、平安時代の遺構は土坑1基を検出したのみで、周辺地区が古代の遺構の希薄な地区であることが確認された。東官衙域北部で実施した第102次調査A区では、平安時代・志波城期の遺構が検出されず、本調査区に東官衙を構成する掘立柱建物等が展開しないことが確認された。政庁北方で実施した第102次調査B区、第103次調査A・B区では、第102次調査B区で平安時代・志波城期のカマドを持たない小形の竪穴建物跡1棟と土坑2基を検出したのみで、掘立柱建物等は検出されず、北大路東方となる当該地区には官衙域が展開しない可能性があることが確認された。外郭西辺部で実施した第104次調査では、築地版築・築地外溝・築地内溝が初めてセットで検出され、外郭西辺の区画施設が、志波城跡の正面である外郭南辺と同規格の築地塀であったことが確認された。</p>							